

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年2月13日

【四半期会計期間】 第68期第3四半期(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

【会社名】 株式会社フジマック

【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 俊範

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 経理部次長 岩崎 正明

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号

【電話番号】 03 - 3434 - 7791

【事務連絡者氏名】 経理部次長 岩崎 正明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間	第67期
会計期間		自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日
売上高	(千円)	25,616,362	25,588,609	36,514,017
経常利益	(千円)	743,424	1,370,355	1,647,800
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	74,420	924,274	678,017
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	303,815	873,687	866,341
純資産額	(千円)	12,890,508	14,408,489	13,453,033
総資産額	(千円)	30,810,976	30,365,554	33,238,335
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	11.36	141.04	103.46
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	41.8	47.5	40.5

回次		第67期 第3四半期 連結会計期間	第68期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日	自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	7.72	72.50

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、富士マック股份有限公司、他1社の重要性が増したことに伴い、これらを連結子会社にしております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用環境が底堅く推移し、低迷していた個人消費にも若干の浮揚感が生じ、全体として緩やかに持ち直しましたが、それでも尚、設備投資は維持・更新投資が主体で、能力増強投資は依然伸び悩み、年末にかけては米国トランプ次期大統領の保護主義姿勢や政策の不確実性が各国で言及され、我が国のみならず、先行きの不透明感が増した状況となりました。

このような情勢の下、当社グループは、昨年来進めてまいりました国内工場の統合、組織改革、物流拠点及びインフラの整備に、一層の改善余地を残しつつも、相応の決着を付け、従来にも増して国内外での生産、物流、施工、営業、サービスの一貫体制を強化してまいりました。

こうしたことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は255億8千8百万円（前年同期比0.1%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は13億7千万円（前年同期比84.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億2千4百万円（前年同期比1,142.0%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、有形固定資産の増加、現預金・売上債権・棚卸資産の減少等の結果、前連結会計年度末比28億7千2百万円減の303億6千5百万円となりました。負債につきましては、支払手形・買掛金・長期借入金の減少等により、前連結会計年度末比38億2千8百万円減の159億5千7百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比9億5千5百万円増の144億8百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億1千8百万円であります。
なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動があった設備、あるいは変動を予定している設備は、次のとおりであります。

株式会社トライアンス（連結子会社）が前連結会計年度に取得した福岡県古賀市内の土地（約4,900坪）に総工費約10億円で建設中でありました倉庫および工場（延床面積約3,300坪）が6月末に完成引渡しを受け、7月より新たな物流および生産の拠点として稼働しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年10月1日～ 平成28年12月31日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成28年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,400	65,514	
単元未満株式	普通株式 2,100		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,514	

【自己株式等】

平成28年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,500		582,500	8.16
計		582,500		582,500	8.16

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (経営企画室長 兼 営業本部 市場開発部長)	取締役 (営業本部 市場開発部長)	熊谷 光治	平成28年9月1日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,336,058	7,600,370
受取手形及び売掛金	8,039,763	² 5,812,274
商品及び製品	2,694,189	2,514,971
仕掛品	152,538	89,383
原材料及び貯蔵品	1,713,299	1,447,422
その他	889,579	870,892
貸倒引当金	12,610	8,998
流動資産合計	21,812,818	18,326,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,150,671	5,267,632
減価償却累計額	1,973,229	2,117,857
建物及び構築物(純額)	2,177,441	3,149,775
機械装置及び運搬具	3,882,870	4,157,360
減価償却累計額	2,804,972	2,964,322
機械装置及び運搬具(純額)	1,077,897	1,193,037
土地	3,869,197	3,993,344
その他	2,057,715	1,716,231
減価償却累計額	1,370,337	1,429,530
その他(純額)	687,378	286,701
有形固定資産合計	7,811,914	8,622,858
無形固定資産	80,613	70,756
投資その他の資産		
投資有価証券	1,700,887	1,656,167
その他	1,937,824	1,786,518
貸倒引当金	105,723	97,062
投資その他の資産合計	3,532,989	3,345,623
固定資産合計	11,425,517	12,039,238
資産合計	33,238,335	30,365,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,118,998	² 7,796,292
1年内返済予定の長期借入金	849,054	806,566
1年内償還予定の社債	1,000,000	-
未払法人税等	561,278	120,037
賞与引当金	400,901	186,925
役員賞与引当金	26,547	29,056
製品保証引当金	86,400	84,900
その他	1,646,240	² 1,545,534
流動負債合計	14,689,419	10,569,312
固定負債		
社債	-	1,000,000
長期借入金	3,212,982	2,709,974
厚生年金基金解散損失引当金	257,827	-
退職給付に係る負債	131,651	129,764
その他	1,493,422	1,548,014
固定負債合計	5,095,882	5,387,753
負債合計	19,785,302	15,957,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	8,656,512	9,662,554
自己株式	441,374	441,374
株主資本合計	10,834,654	11,840,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	723,689	691,639
土地再評価差額金	1,727,717	1,727,717
為替換算調整勘定	166,972	148,436
その他の包括利益累計額合計	2,618,379	2,567,793
純資産合計	13,453,033	14,408,489
負債純資産合計	33,238,335	30,365,554

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	25,616,362	25,588,609
売上原価	17,700,524	17,198,505
売上総利益	7,915,838	8,390,103
販売費及び一般管理費	7,201,628	7,084,498
営業利益	714,209	1,305,605
営業外収益		
受取利息	8,550	2,744
受取配当金	15,920	19,511
受取手数料	26,036	31,854
受取賃貸料	29,050	26,992
保険解約返戻金	8,920	29,753
その他	23,170	28,109
営業外収益合計	111,649	138,966
営業外費用		
支払利息	42,624	39,649
為替差損	29,213	13,953
その他	10,597	20,614
営業外費用合計	82,434	74,216
経常利益	743,424	1,370,355
特別利益		
固定資産売却益	10,190	751
会員権売却益	1,799	-
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	-	89,939
その他	0	0
特別利益合計	11,991	90,692
特別損失		
固定資産除却損	60,729	729
投資有価証券評価損	86,162	-
会員権評価損	6,050	-
その他	636	50
特別損失合計	153,579	779
税金等調整前四半期純利益	601,836	1,460,268
法人税、住民税及び事業税	445,922	361,151
法人税等調整額	81,493	174,842
法人税等合計	527,416	535,994
四半期純利益	74,420	924,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,420	924,274

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	74,420	924,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257,583	32,049
為替換算調整勘定	28,188	18,536
その他の包括利益合計	229,395	50,586
四半期包括利益	303,815	873,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303,815	873,687
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、重要性が増した富士マック股份有限公司、他1社を連結の範囲に含めておりません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12,659千円増加しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
輸出割引手形	13,777千円	千円
受取手形裏書譲渡高	737 "	400 "

2 四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
受取手形	千円	175,420千円
支払手形及び買掛金	"	895,776 "
その他(設備関係支払手形)	"	11,357 "

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
減価償却費	474,287千円	475,835千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	131,070	20	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	131,069	20	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	11円36銭	141円04銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	74,420	924,274
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益金額(千円)	74,420	924,274
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,493	6,553,490

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 2月10日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成28年10月1日から平成28年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。